

上田市営球場の思い出

牧野 泉 (9組)

今回、上原昇君(2組)の上田市営球場(旧名)の「野球聖地150選」に因む投稿に合わせ、野球少年だったガキの頃の記憶を少したどってみようと思います。

小学校時代の筆者は冬場を除き早朝からゴムボール手打ち野球に、放課後は軟球で野球をするのが日課でありました。校庭が使えない時は、お宮の空き地境内等を野球場として活用したものです。



そんな中で、上田市営球場は野球少年にとって特別な聖地と思っていました。小学校3年生の時(昭和32年)、兄貴が市営球場で上田松尾高校とセンバツ高校野球優勝校の早稲田実業との練習試合があるので行こうとの誘いを受け、近所の仲間も誘ってワクワクして走って行きました。

さて試合は上田松尾高校の惨敗でしたが、びっくりしたのは、早実は左バッターが6人いたこと。さすが、全国優勝校はすごいと感じ、さらにはピッチャーの王貞治選手(1940~)のゆったりとしたモーションからの速球は凄かったとの記憶があります。

その年に、上田松尾高校は上田高校と校名変更し、甲子園出場を果たしました。早実のおかげ効果かも??? 甲子園では名門平安高校を3対1で下し、その次の試合は優勝した広島商業に6対0で負けました。

次の思い出は、昭和33年、日本人プロ野球選手として一番ノッポで評判だった巨人軍の馬場正平(1938~1999、のちのジャイアント馬場)投手の登板した国鉄スワローズとの試合を市営球場で観戦したことです。馬場選手の投球に注目しましたが、1回投げて打たれました。投手として大したことはなかったですが、その後、プロレス入門となり才能を開花させました。

中学生時代には、当時テレビで毎週、三菱ダイヤモンド・アワーのプロレス中継があり、プロレスブームになった時期です。昭和37年だったと思いますが、市営球場でプロレスの興業があり、学校を早退して観戦に行きました。当時上田二中の生徒でしたが、市営球場に行くには二中の前を顔を隠して急ぎ足で通らなくてなりません。試合は、豊登(1931~1998)、金一(キム・イル、後の

大木金太郎、1929～2006)のほか、スカイ・ハイリー(1921～1974)などの外人レスラーが出演して、彼らが唸りながら観客席の横を通るのでビビってしまいました。

当時大きなスポーツイベントを開催できるのは市営球場しかありませんでした。

昭和 36 年から 38 年の中学時代は、野球大会は市営球場で、陸上、水泳大会は上田城跡公園内の会場を利用させてもらったことも思い出です。

以上



早実時代の王貞治選手

(2022 年 9 月 12 日記)